

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	秋川橋河川公園
	所在地	あきる野市留原 8 1 4 番地
	所管課	観光まちづくり推進課
指定管理者	名 称	あきる野市観光協会（五日市支部）
	所在地	あきる野市館谷台 1 6 番地
	業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設の利用等に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用の受付業務 ・器具類の貸出し業務 2 環境衛生協力費等の徴収に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者が、施設内に自動車等を乗り入れる際の環境衛生協力費の徴収業務 ・器具類等の貸出し料徴収業務 3 施設の維持管理に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃業務 ・施設の軽微な修繕に関する業務 4 施設の利用促進を図るための企画実施に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントの支援業務 ・施設の見学に関する業務 ・広告・宣伝業務 ・施設利用者に対する意識調査の実施業務
ホームページURL	https://www.akirunokanko.com/?p=307	
指 定 期 間	平成 2 6 年 4 月 1 日 ～ 平成 2 9 年 3 月 3 1 日	

2 施設の利用状況等について

項 目	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
開館等日数（日）	285	290	297	289	286
来客者数（人）	約 75,000	約 80,000	約 85,000	約 65,000	約 60,400
前年度比（人）	5,000	5,000	5,000	△20,000	△4,600
前年度比（％）	107.1	106.7	106.3	76.5	92.9
利用料金等 合計（千円）	66,479	73,156	64,659	61,358	59,402
前年度比（千円）	11,697	6,677	△8,497	△3,301	△1,956
前年度比（％）	121.4	110.0	88.4	94.9	96.8

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
収入	指定管理料	0	0	0	0	0
	利用料金	51,969	56,168	50,740	48,622	46,773
	自主事業収入	0	0	0	0	0
	その他の収入	14,510	16,988	13,919	12,736	12,629
	計	66,479	73,156	64,659	61,358	59,402
支出	人件費	17,236	16,201	17,587	17,912	18,703
	維持管理経費	7,973	9,150	2,964	3,402	6,063
	自主事業 関係経費	0	0	0	0	0
	その他の支出	17,635	17,543	17,290	17,351	14,098
	計	42,845	42,895	37,840	38,665	38,864
収支（収入－支出）		23,634	30,261	26,819	22,694	20,538

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
直接、利用者に感想などを聞いている。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
団体客のアナウンスの音量が大きいとの苦情に対しては、団体客に対して注意を行い解決した。 園内での迷惑行為として、暴走車両があったため、警察に対応を依頼して解決した。 その他の苦情に対しても、迅速に対応し、大きな問題はなかった。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
武蔵五日市駅から徒歩で行けるアクセスの良さや地域事業者と連携した食材の配達サービスの実施、鉄板等のレンタル用品を洗わずに返却できる仕組みなど、気軽にバーベキューを楽しめる施設として、利用者のサービス向上に努めている。また、地元のイベントの場所として提供している。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
適正人員の見直しを行い、より効率的な施設運営に取り組むとともに、手洗い場や調理場での水道、電気の使用時間を限定し、経費の削減に取り組んでいる。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
繁忙期である7月は、利用者数・開園日数ともに前年比で増加したが、8～9月に台風や大雨の影響により計画していた開園日数に達せず、年間利用者数も昨年と比較して減少した。 経営状況は安定しているが、近年利用者のニーズが変化していることを感じているため、閑散期の集客方法を検討するとともに変化に対応する施設運営・サービス提供を検討して、収益・利用者数の増加に努めたい。 施設運営に関しては、各マニュアルに基づき利用者及び従業員の安全管理を図るとともに作業効率の向上を図ることができた。今後も、従業員に対する安全教育を強化し、労働災害の防止及び利用者の安全確保に努めていく。また、事故防止対策として定期的な見回り以外にも、利用者に対する看板等による怪我や飲酒を含めた周知活動を行っていく。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
毎年、繁忙期に発生していた駐車場及び周辺道路の渋滞については、早朝から駐車場を開場することで渋滞が緩和され、苦情などは大幅に減少しているため、職員の労務管理を十分図りながら、今後も同様の対応を実施することが望まれる。	
経費削減の取組	
利用者に配慮しながら、節電と節水に努め、経費削減を達成している。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
利用者数については前年度比約4,600人の減少、収入については1,956千円減少している。収益額は昨年と比べ2,156千円減少しているものの、20,538千円の収益がある。過去5年間の収支状況も安定した黒字状態を達成していることから、経営状態は良好である。 秋川橋河川公園は、武蔵五日市駅から徒歩5分という良い立地条件に加え、施設の規模や内容も充実していることから、特にゴールデンウィークや夏休み期間中はバーベキューをしながら川遊びをする家族連れも多く盛況である。近年の利用者数の減少に対しては、下半期の対策の検討を行い、秋川渓谷の魅力を伝える観光施設として積極的なプロモーションを展開し、あきる野市の観光振興への貢献を期待する。 また、施設内における利用者の迷惑行為や危険行為については、職員の地道な声かけや看板等で周知を徹底し、多くの利用者に安心して利用していただけるよう、引き続き利用者サービスの向上及び適切な施設運営を図ることを期待する。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。